



2014年8月22日

## おきぎん県内景況・確報 2014年4～6月期

### -県内景況は、拡大している-

#### ○個人消費関連

スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は「全店ベース」、「既存店ベース」ともに前年同期を下回る。

百貨店売上高は前年同期を上回る。

家電卸出荷額…消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同期を下回る。

新車販売台数…軽乗用車需要などにより前年同期を上回る。

#### ○建設関連

公共工事…公共工事請負金額は沖縄県や市町村発注工事等が増加し、前年同期を上回る。

住宅投資・建設資材…着工戸数は前年同期を上回り、生コン、セメントも上回る。

#### ○観光関連

入域観光客数…航空路線の拡充などにより前年同期を上回る。

観光施設入場者数…全地域で前年同期を上回る。

主要大型ホテル稼働率…シティホテル、リゾート、ビジネスのすべてで前年同期を上回る。

ホテル客室単価・宿泊収入(推計値)…客室単価・宿泊収入ともに前年同期を上回る。

#### ○倒産・雇用

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同期を下回る。

有効求人倍率…前年同期を上回る。

#### ○生産関連

鉱工業生産(4～5月平均数値での比較)…前年同期を上回る。

大口電力使用量…窯業土石製造業の需要増などにより、前年同期を上回る。

○物価関連…消費者物価指数は前年同期を上回り、ガソリン(レギュラー、軽油)も上回る。

### 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・確報(2014年4-6月期)

©2014年4~6月 おきぎん「カトリア」景況図



2014年4-6月期の県内景況

**個人消費関連**では、スーパー売上高が、「全店ベース」「既存店ベース」ともに前年同期を下回りました。百貨店売上高は、「身の回り品」「雑貨」「食料品」などが好調で前年同期を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同期を下回りました。新車販売台数は軽乗用車需要などにより前年同期を上回りました。

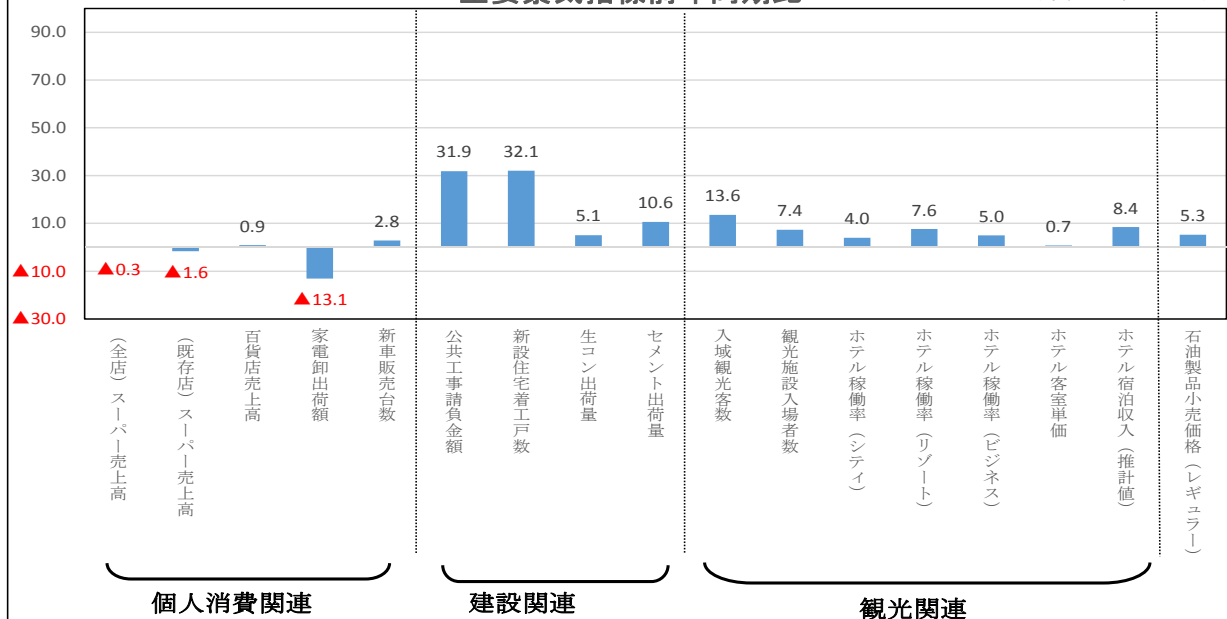
**建設関連**では、公共工事請負金額が沖縄県や市町村発注による大型工事等により前年同期を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同期を上回り、建設資材である生コン、セメントはともに上回りました。

**観光関連**では、入域観光客数は航空路線の拡充などにより国内外ともに好調に推移し、前年同期を上回りました。ホテル稼働率もシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同期を上回り、観光施設入場者数も上回りました。ホテル客室単価・宿泊収入(推計値)もともに前年同期を上回りました。

このような状況を鑑みると、個人消費において一部に消費税増税に伴う駆け込み需要の反動等がみられるものの、建設関連や観光関連では堅調な動きが続いていることから「県内景況は拡大している」と景気判断しました。

主要景気指標前年同期比

(単位: %、ポイント)



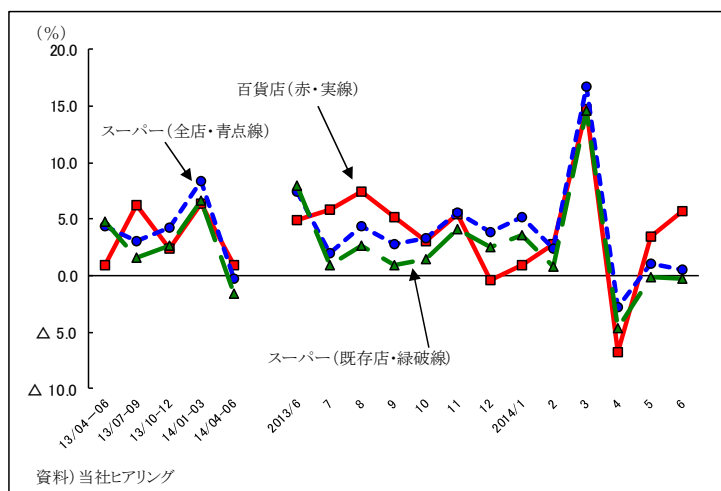
■個人消費:  (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同期を下回る。百貨店は前年同期を上回る。

単位:%

年/期・月	スーパー売上高		百貨店 売上高
	全店	既存店	
13/04-06	4.4	r 4.8	0.9
13/07-09	3.1	1.6	6.2
13/10-12	4.2	2.7	2.4
14/01-03	8.4	6.6	6.4
14/04-06	△ 0.3	△ 1.6	0.9
2013/6	7.5	r 8.0	4.9
7	2.0	1.0	5.9
8	4.4	2.7	7.5
9	2.8	1.0	5.2
10	3.3	1.5	3.1
11	5.6	4.1	5.5
12	3.8	2.6	△ 0.4
2014/1	5.2	3.6	0.9
2	2.4	0.8	2.8
3	16.8	14.6	14.7
4	△ 2.8	△ 4.7	△ 6.8
5	1.1	△ 0.1	3.5
6	0.6	△ 0.2	5.7

注)前年同期比、前年同月比

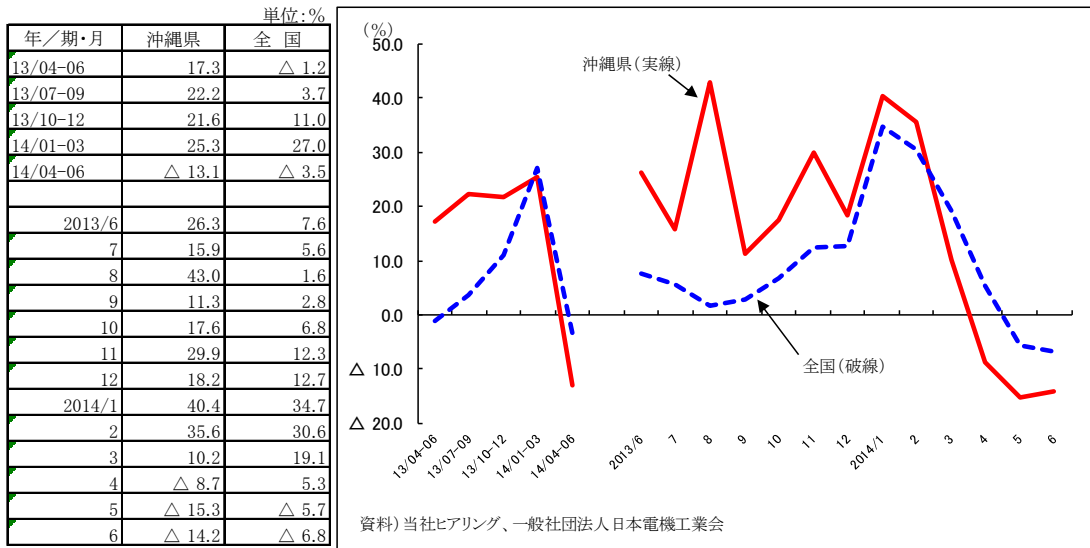


**2014年4-6月期の個人消費関連**は、**スーパー売上高**が「全店ベース(前年同期比0.3%減)」で前年同期を下回りました。新規出店効果などにより、ウェイトの高い「食料品(同1.2%増)」の売れ行きが堅調に推移したものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などから「衣料品(同3.2%減)」、「家庭用品(同4.7%減)」の売れ行きが低調で前年同期を下回りました。

「既存店ベース(同1.6%減)」は、総じて消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより売れ行きが低調で、前年同期を下回りました。(以下、既存店ベース)品目別で見ると、ウェイトの高い「食料品(同0.9%減)」は、5月から反動減からの持ち直しの動きが見られたものの、全体で前年同期を下回りました。「衣料品(同2.9%減)」は、夏物衣料の売上が4月は天候に恵まれたことから好調だったものの、5~6月は昨年より低気温であったことや、長梅雨の影響などから売れ行きが低調で、前年同期を下回りました。また、家電を含む「家庭用品(同3.8%減)」も、反動減に加え、5~6月は昨年より低気温であったことや、長梅雨の影響などにより、エアコンや冷蔵庫など白物家電の売れ行きが低調で前年同期を下回りました。

**4-6月期の百貨店売上高**は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が見られたものの、「身の回り品」「雑貨」「食料品」などの売れ行きが好調で前年同期を0.9%上回りました。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同3.7%減)」は、5月から反動減からの持ち直しが見られたものの、主力の「婦人服(同3.9%減)」が気温低下や長梅雨の影響などにより前年同期を下回り、全体を押し下げました。「家庭用品(同20.1%減)」も、反動減に加え、物産展の開催減少などにより前年同期を下回りました。一方、「身の回り品(同10.1%増)」や「雑貨(同4.9%増)」は、観光客数の増加やテナント改装による集客効果などから前年同期を上回りました。また、「食料品(同3.7%増)」も、テナント改装による集客効果や物産展の売れ行きが堅調だったことなどから、前年同期を上回りました。

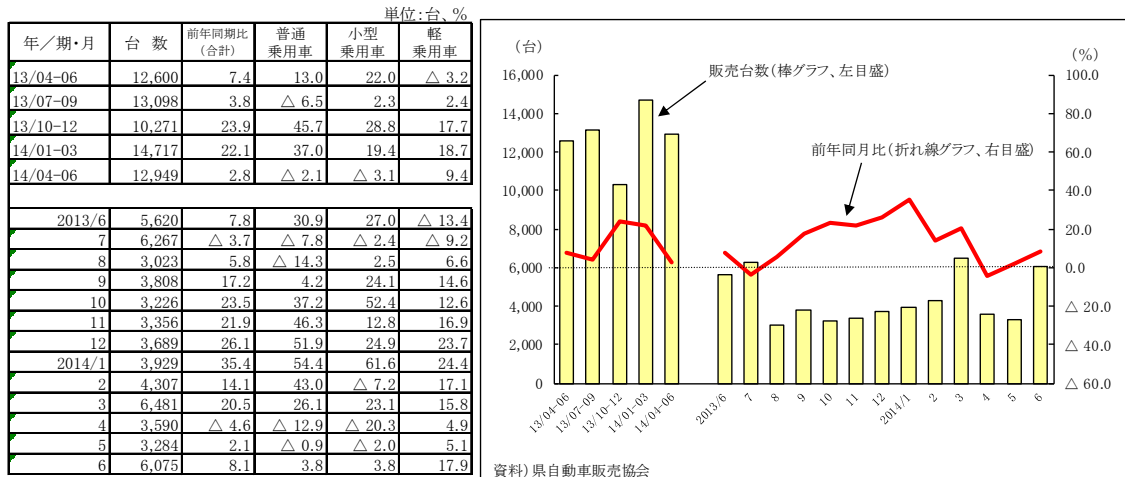
②家電卸出荷額…消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同期を下回る。



注) 前年同期比、前年同月比

2014年4-6月期の家電卸出荷額は、総じて消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同期を下回りました(同13.1%減)。品目別でみると、「太陽光パネル(同27.8%減)」は、固定買取価格引下げに伴う需要の落ち着きなどにより前年同期を下回りました。「エアコン(同7.3%減)」も、6月の梅雨明けが昨年より遅かったことなどから売れ行きが低調で、前年同期を下回ったほか、「冷蔵庫(同14.9%減)」「洗濯機(同10.4%減)」も前年同期を下回りました。一方、「テレビ(同14.4%増)」は、2014年6月から試験放送が始まった4KテレビがサッカーW杯効果もあって売れ行きが好調で、前年同期を上回りました。

③新車販売台数…軽乗用車需要などにより前年同期を上回る。



注) 前年同期比、前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

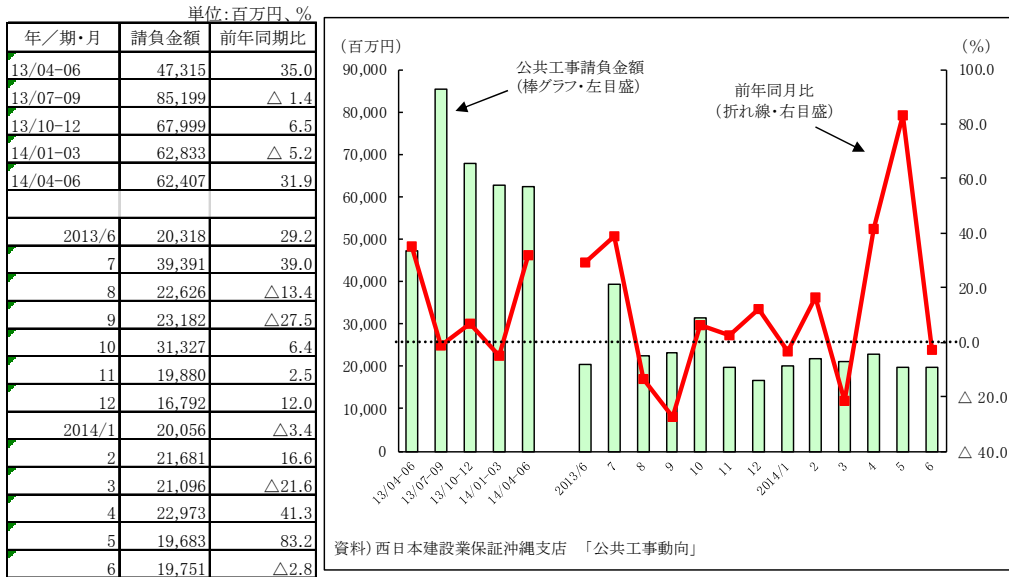
2014年4-6月期の新車販売台数は、全体で12,949台(前年同期比2.8%増)となり、前年同期を上回りました。「普通乗用車(同2.1%減)」、「小型乗用車(同3.1%減)」は消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同期を下回りました。一方、「軽乗用車(同9.4%増)」は、ランニングコスト(燃費、税負担、車検費用など)の安さから堅調に推移し、前年同期を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



■建設関連: (良い)

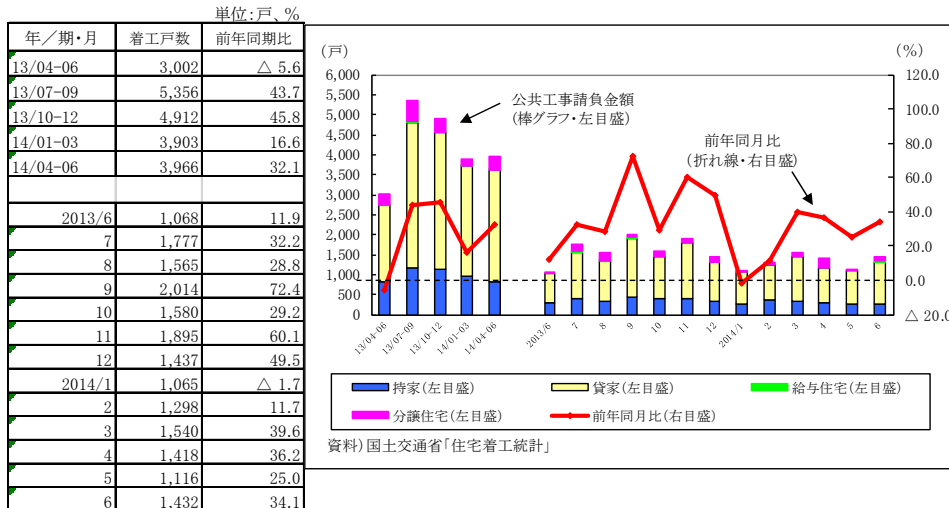
①公共工事…公共工事請負金額は、前年同期を上回る。



注) 四半期データについては、四捨五入等の為、月次の合算値と一致しない場合がある。  
注) 前年同期比、前年同月比

2014年4-6月期の建設関連では、**公共工事請負金額**は前年同期より31.9%増の624億7百万円となりました。発注者別請負金額でみると、「国(同6.2%増)」は沖縄総合事務局発注による那覇空港関連工事、「独立行政法人等(同102.9%増)」は沖縄自動車道関連工事、「沖縄県(同81.3%増)」は新石川浄水場や北谷浄水場関連工事、「市町村(同44.9%増)」は伊是名村での製糖工場新築工事などにより前年同期を上回った一方、「その他公共的団体(同46.9%減)」は昨年の軽自動車検査協会関連の事務所新築などの反動等により下回りました。

②住宅投資・建設資材…着工戸数、生コン、セメントのすべてで前年同期を上回る。

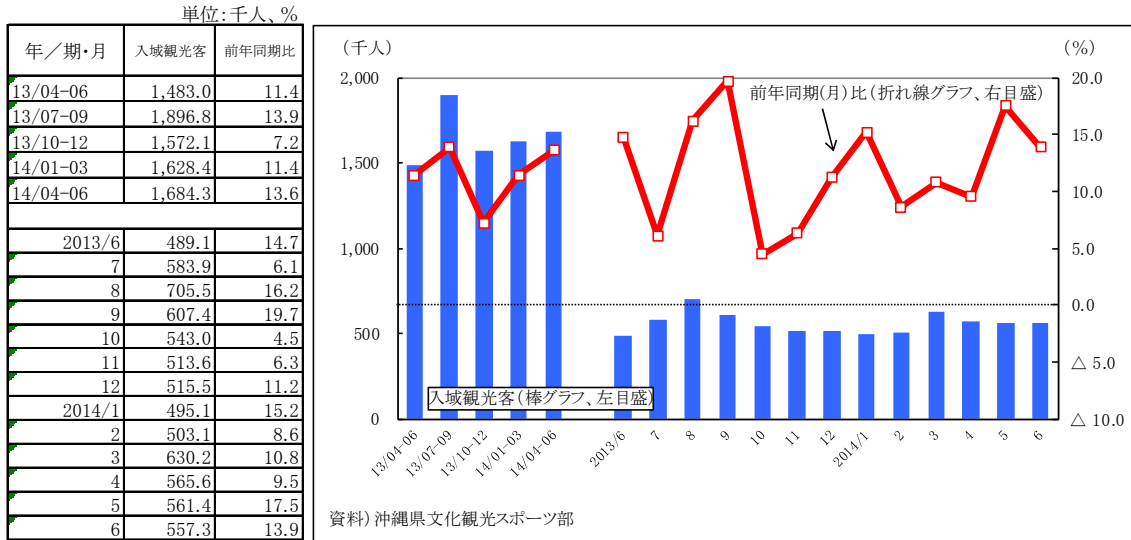


注) 四半期データについては月次の合算値となっている  
注) 前年同期比、前年同月比

**新設住宅着工戸数**は、全体で32.1%増の3,966戸と前年同期を上回りました。内訳をみると、ウェイトの高い「貸家(同43.7%増)」をはじめ、「分譲住宅(同41.4%増)」等のすべてで前年同期を上回りました。**建設資材関連**では、**生コン**は公共・民間工事向け出荷が増加したことにより、全体で5.1%増と前年同期を上回り、**セメント**も10.6%増加しました。

■観光関連:  (良い)

①入域観光客…11四半期連続で前年同期を上回る。



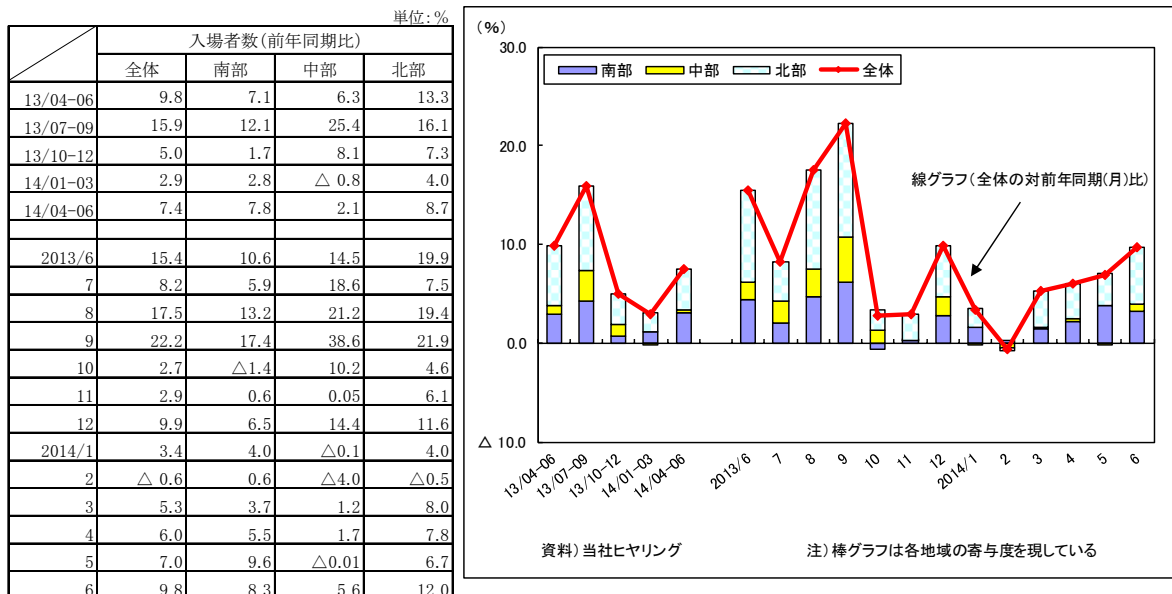
注) 前年同期比、前年同月比  
注) 外国客は乗務員等を含む

**2014年4-6月期の入域観光客数**は、航空路線の拡充やクルーズ船の寄港効果などにより、国内客・外国客ともに増加し、全体として前年同期を13.6%上回りました。「国内客(同 8.5%増)」においては、主要路線である東京方面(同 5.7%増)や関西方面(同 11.1%増)を中心に各主要路線で前年同期を上回りました。

他方、「外国客(同 52.0%増)」は、航空路線の拡充で空路客が増加したほか、クルーズ船の寄港効果により海路客も増加し、「台湾(同 45.8%増)」をはじめ「韓国(同 92.6%増)」、「中国本土(同 104.0%増)」、「香港(同 44.3%増)」など各主要地域で前年同期を上回りました。

※乗務員等を含む数値を掲載

②観光施設入場者数…各地域において前年同期を上回る。



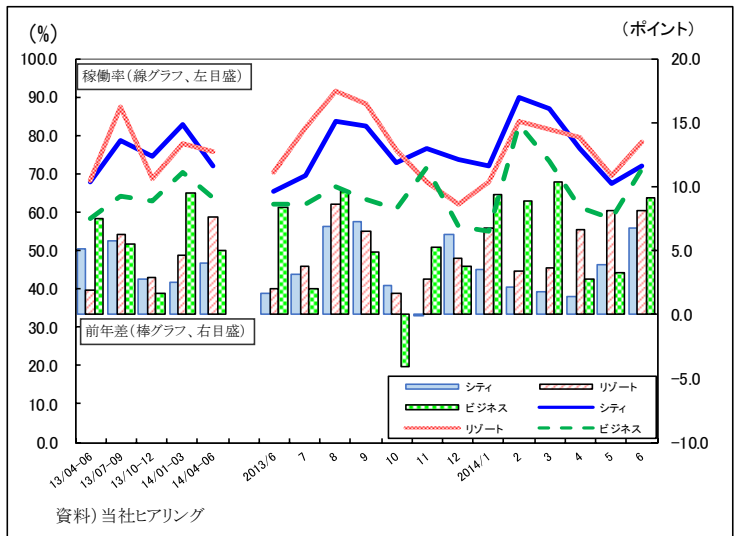
\*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設  
グラフは全体の寄与度を表示。

**観光施設入場者数**は、全体で前年同期より7.4%増加しました。地域別にみると、南部は同7.8%増、中部は同2.1%増、北部は同8.7%増とすべての地域において前年同期を上回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同期を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
13/04-06	r 68.0	r 68.1	58.5	5.1	1.9	7.5
13/07-09	78.5	87.3	64.0	5.8	6.3	5.5
13/10-12	74.4	68.6	62.9	2.8	2.9	1.6
14/01-03	82.9	77.7	70.4	2.5	4.6	9.5
14/04-06	72.0	75.7	63.6	4.0	7.6	5.0
2013/6	r 65.4	r 70.2	61.9	1.7	2.0	8.4
7	69.4	82.1	62.0	3.1	3.8	2.0
8	83.8	91.7	66.7	6.9	8.6	9.6
9	82.4	88.0	63.3	7.3	6.5	4.9
10	73.0	76.2	60.6	2.2	1.6	△ 4.1
11	76.6	67.7	71.6	△ 0.1	2.7	5.2
12	73.7	62.0	56.4	6.3	4.4	3.7
2014/1	72.0	68.0	55.1	3.5	6.8	9.3
2	90.0	83.5	82.9	2.1	3.4	8.9
3	86.8	81.7	73.3	1.8	3.6	10.3
4	76.5	79.5	61.2	1.4	6.6	2.7
5	67.4	69.4	58.5	3.9	8.1	3.3
6	72.1	78.3	71.0	6.7	8.1	9.1



注) シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

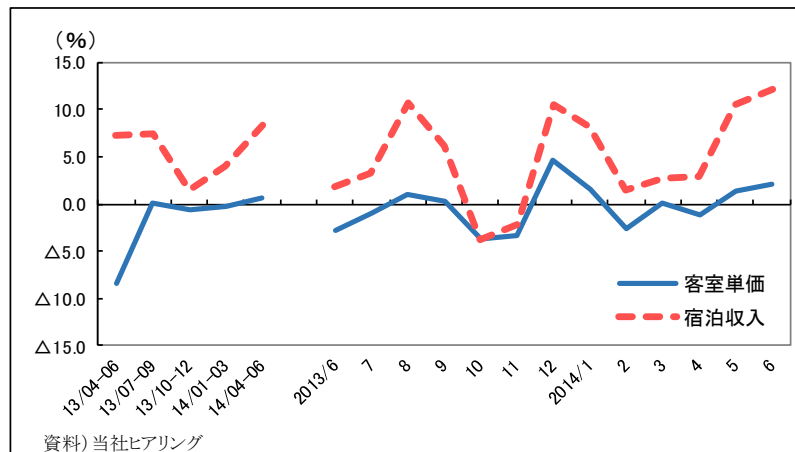
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

**2014年4-6月期の県内ホテル稼働率**は、入域観光客数の増加に伴い、シティホテルが72.0%と4.0ポイント上昇、リゾートホテルが75.7%と7.6ポイント上昇、ビジネスホテルが63.6%と5.0ポイント上昇し、すべてにおいて前年同期を上回りました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同期を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
13/04-06	△8.4	7.3
13/07-09	0.2	7.4
13/10-12	△0.6	1.4
14/01-03	△0.3	4.0
14/04-06	0.7	8.4
2013/6	△2.8	1.9
7	△1.0	3.2
8	1.0	10.8
9	0.3	6.3
10	△3.8	△3.8
11	△3.4	△2.1
12	4.6	10.6
2014/1	1.6	8.1
2	△2.6	1.5
3	0.1	2.7
4	△1.2	3.0
5	1.3	10.5
6	2.1	12.2



※対象施設数: 29施設(シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

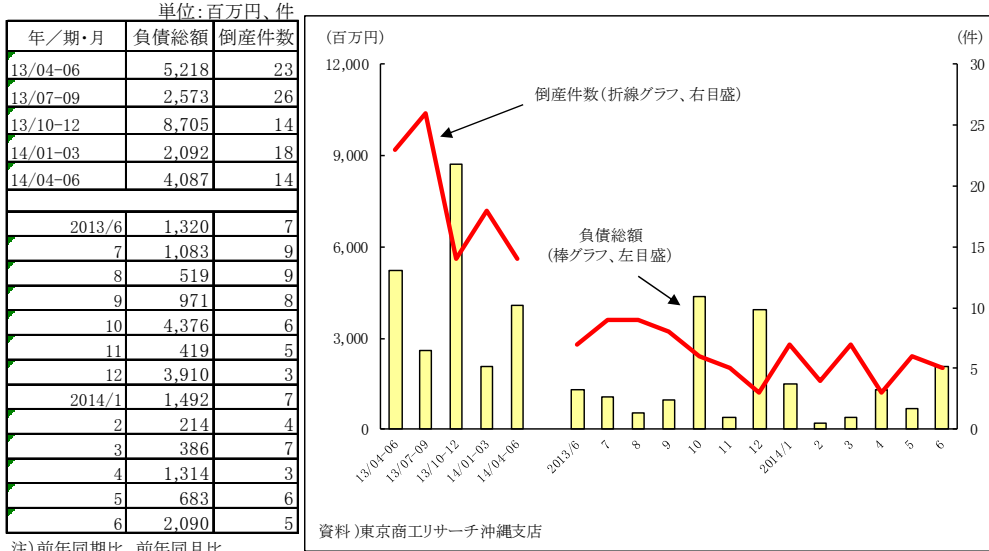
※2014年4月指標より新たに掲載

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)が、前年同期比 0.7%増と前年同期を上回ったほか、稼働率の上昇等により**宿泊収入**も同 8.4%増と前年同期を上回りました。



■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数、負債総額ともに前年同期を下回る。



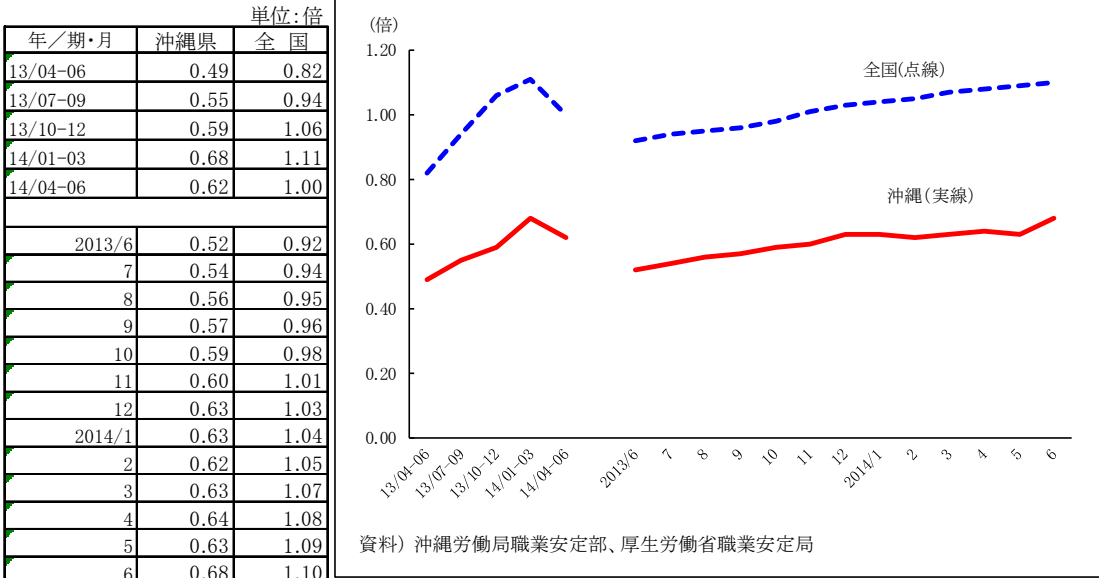
注)前年同期比、前年同月比  
注)四半期データは、月次データ(TSR)を足し合わせた数値となっている

2014年4-6月期の企業倒産は、件数が14件となり前年同期より9件少なく、負債総額では、同21.7%減の40億87百万円となりました。



■雇用関連: (やや良い)

有効求人倍率…前年同期を上回る。



注)四半期別の数値は原数値平均、月別は季節調整値  
注)四半期データは、月次データ(原数値)の平均値を用いている

2014年4-6月期の雇用状況は、期中の有効求人数(原数値平均)は前年同期比16.6%増の19,890人に対して、有効求職者数(同上)は同8.7%減の31,940人となり、有効求人倍率は0.62倍となりました。また、完全失業率をみると5.5%(原数値単純平均)と前年同期の6.3%より0.8ポイント改善しました。

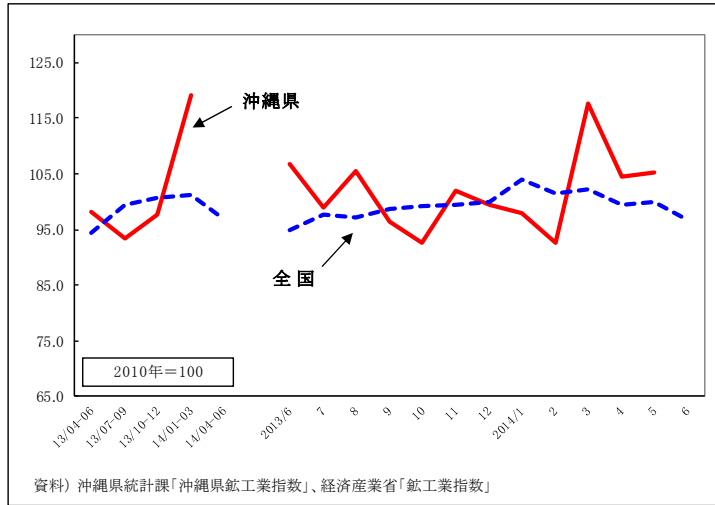




■ 鉱工業・大口電力関連: (ふつう)

① 鉱工業生産指数(4-5月平均)…前年同期を下回る。

年/期・月	県内	全国
13/04-06	98.2	94.3
13/07-09	93.4	99.5
13/10-12	97.7	100.7
14/01-03	119.1	101.3
14/04-06	-	P 96.8
2013/6		
7	106.8	95.0
8	98.8	97.6
9	105.5	97.1
10	96.3	98.6
11	92.6	99.2
12	101.9	99.5
13	99.3	100.0
2014/1	97.9	103.9
2	92.6	101.5
3	117.6	102.2
4	104.5	99.3
5	105.2	100.0
6	-	P 96.7



注1) 沖縄県の四半期数値は、月次原指数の平均値  
注2) 月別の数値は季節調整値

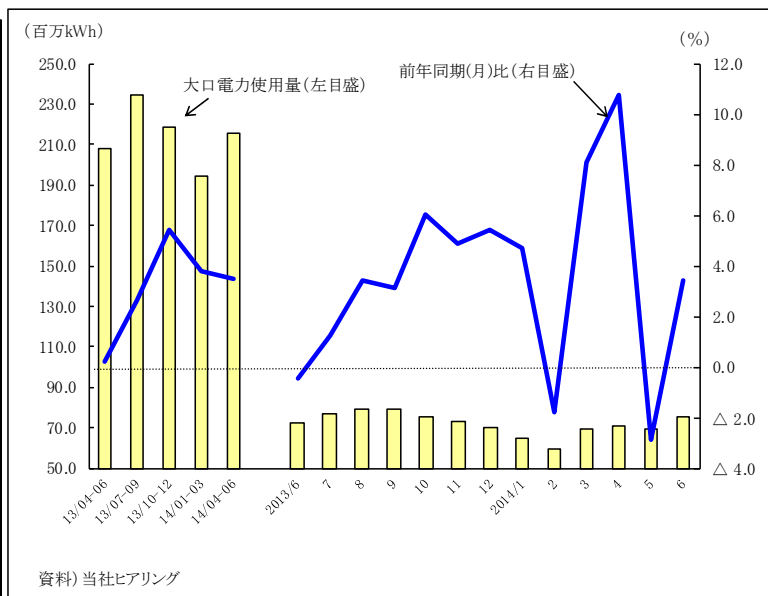
2014年4-5月期の**鉱工業生産指数**は、前年同期より2.6%下落し97.7(原指数平均値)となりました。産業別にみると、「窯業・土石製品工業(同 8.8%増)」が前年同期を上回ったものの、「その他の工業(同 20.1%減)」や「金属製品工業(同 15.9%減)」などが下回りました。

\* 上記本文について、2014年6月(沖縄)データが未公表のため、4~5月現指数の平均値を昨年の同データと比較した内容となっている。

② 大口電力使用量…窯業土石製造業等の需要増により、前年同期を上回る。

単位: 百万kWh、%

年/期・月	大口電力使用量	前年同期比
13/04-06	208.0	0.2
13/07-09	234.7	2.6
13/10-12	218.8	5.5
14/01-03	194.0	3.8
14/04-06	215.3	3.5
2013/6		
7	72.6	△0.5
8	76.6	1.3
9	78.9	3.4
10	79.2	3.1
11	75.5	6.0
12	73.3	4.9
13	70.0	5.4
2014/1	65.1	4.7
2	59.7	△1.8
3	69.2	8.1
4	70.5	10.8
5	69.7	△2.9
6	75.1	3.4



注) 前年同期比、前年同月比  
注) 四半期データは、月次を足し合わせ数値となっている

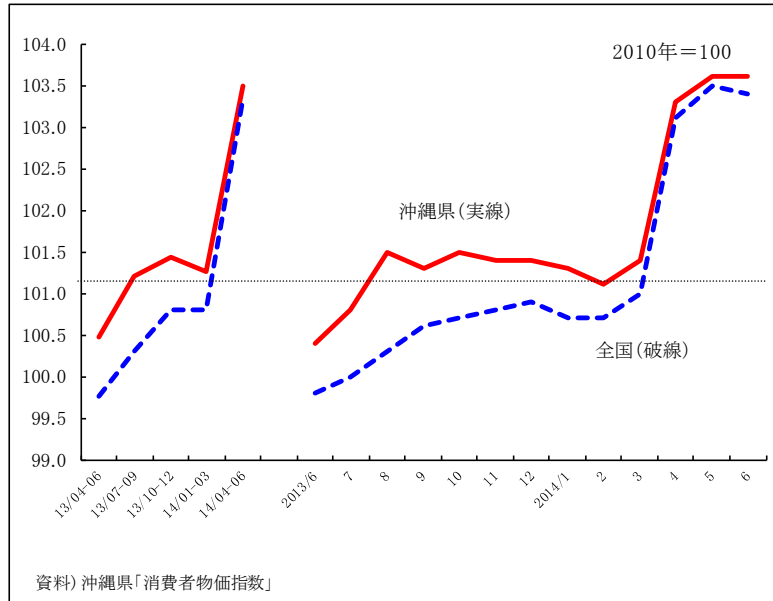
2014年4-6月期の**大口電力使用量**は、窯業土石製造業や鉄鋼製造業における需要増に伴い前年同期を3.5%上回り、215.3百万kW/hとなりました。

■物価関連:  (ふつう)

①消費者物価指数…前年同期を上回る。

2010年=100		
年/期・月	沖縄県	全国
13/04-06	100.5	99.8
13/07-09	101.2	100.3
13/10-12	101.4	100.8
14/01-03	101.3	100.8
14/04-06	103.5	103.3
2013/6	100.4	99.8
7	100.8	100.0
8	101.5	100.3
9	101.3	100.6
10	101.5	100.7
11	101.4	100.8
12	101.4	100.9
2014/1	101.3	100.7
2	101.1	100.7
3	101.4	101.0
4	103.3	103.1
5	103.6	103.5
6	103.6	103.4

注) 前年同期比、前年同月比  
注) 数値は総合指数



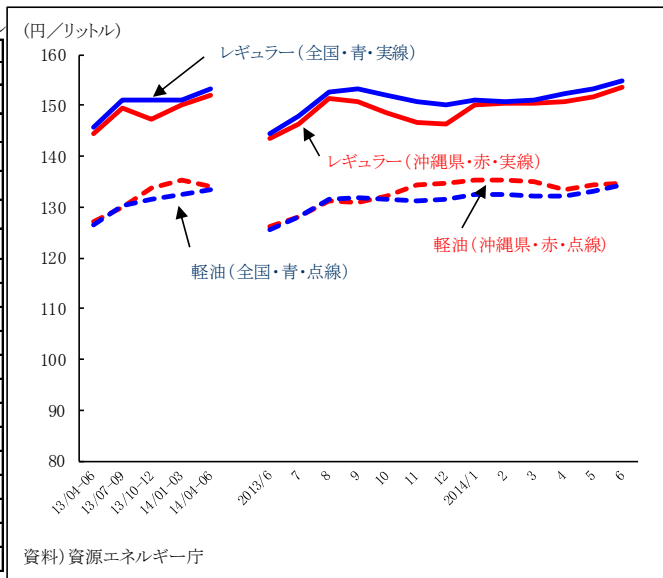
2014年4-6月期の消費者物価指数(総合)は、消費税増税による影響などから前年同期より3.0%上昇し103.5となりました。費目別にみると、調理食品を含む「食料(同5.2%増)」や自動車等関係費を含む「交通・通信(同3.4%増)」などが前年同期より上昇しました。

②石油製品小売価格(税抜き) …レギュラー、軽油ともに前年同期を上回る。

年/期・月	沖縄県		全国	
	レギュラー	軽油	レギュラー	軽油
13/04-06	144.3	127.0	145.6	126.5
13/07-09	149.3	129.9	151.0	130.4
13/10-12	147.1	133.7	150.9	131.5
14/01-03	150.2	135.2	150.9	132.3
14/04-06	152.0	134.1	153.4	133.2
2013/6	143.4	126.1	144.5	125.6
7	146.2	128.0	147.7	128.0
8	151.3	131.3	152.5	131.4
9	150.8	130.9	153.1	131.9
10	148.5	132.1	152.0	131.6
11	146.6	134.5	150.6	131.2
12	146.3	134.5	150.1	131.6
2014/1	150.0	135.2	151.0	132.5
2	150.4	135.2	150.8	132.3
3	150.3	135.1	150.9	132.2
4	150.7	133.5	152.1	132.1
5	151.8	134.3	153.2	133.2
6	153.4	134.7	154.7	134.4

注) 四半期、月次データは「週次調査結果」の平均値を用いている。

注) 本データは、2014年4月消費税引き上げによる影響を取り除くため、公表数値を税抜き価格に加工している



2014年4-6月期の石油製品小売価格は、円安などの為替や原油価格高騰の影響などにより、レギュラー・軽油の小売価格ともに前年同期を上回りました。県内のレギュラー価格(期間平均)が前年同期より5.3%、軽油価格も5.6%上回りました。他方、全国の価格動向も同様に推移しています。